



学校だより

4月号

平成29年4月5日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

初心忘るべからず

学校長 小澤 紀子



今年は厳しい寒の戻りもあり、桜の花が待ち遠しく感じられる春となりましたが、ようやくつぼみが開き始め、今日の日を喜んでくれているようです。

本日、善部小学校、平成29年度がスタートいたしました。

新1年生のみなさん、保護者の皆様。ご入学おめでとうございます。

心よりお祝い申し上げます。たくさんの期待と少しの不安をピカピカの

ランドセルにつめて入学式に臨んだことでしょうか。たくさんの上級生が1年生の入学を心待ちにしておりました。わくわくドキドキの新しい生活が楽しい日々となりますよう、力を尽くしてまいります。これから6年間、本校教育活動にご理解ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

つい先日修了式を終えた子どもたちも、それぞれ1つ上の学年に進級し、すっかり新学年の顔になりました。進級おめでとうございます。新しい学年・クラスで友だちや先生と一緒に、新たな気持ちでスタートしてほしいと願っています。昨日は6年生が入学式・新年度準備できびきびと気持ちよく活動してくれました。頼もしい最上級生です。今年度は74名の新入生を迎え、児童数440名、一般学級15クラス、個別支援級3クラスです。いつものようにしっかりと話を聞くことができる善部小の子どもたちに会えて心弾む新年度のスタートとなりました。

今年も始業式で、4つの大事にすること【あいさつ・返事・思いやり・チャレンジ】を話しました。毎年同じことを繰り返し話しています。子どもたちには合言葉のようになっていると思います。またその話かと思った子もいることでしょうか。どれをとってみても、この先ずっと中学生になっても大人になっても大切なことだと思っています。毎年同じ話、同じ4つの言葉ですが、めざす内容は人によって学年によって、変わっていくものはずです。

将棋棋士の羽生善治さんの話の中に、世阿弥が残した「初心忘るべからず」という言葉について書かれたものがあります。『これは、物事を始めた時の気持ちを大切にす意味のみならず、人生の様々な段階の「初心」を忘れてはならないということだと理解している。将棋を覚えた時、プロの道を志した時、棋士となって将棋の世界の奥深さを知った時。それぞれの初心が、進歩を続ける上で大切なのだと思う。』（朝日新聞より一部抜粋）すばらしい心得を教えてくださいました。子どもたちも、入学、進級にあたり、新年度を迎えてそれぞれが思うこと、めざすこと、願うことを初心とし、新たな一歩を踏み出し、成長して行ってほしいと思いました。今年も子どもたちの思いを支え、一人一人が輝き、笑顔いっぱいの善部小をめざして取り組んでいきます。

日頃より、本校教育活動にご理解・ご協力をいただいております保護者の皆様、地域の皆様、いつも本当にありがとうございます。昨年は子どもが巻き込まれる事件事故が各地でありましたが、本校では登下校時に見守ってくださる安全ボランティアの皆様や保護者の皆様のお力により、安心して通うことができます。「行ってらっしゃい。」「お帰り。」と声をかけてくださる皆様の温かいまなざしと励ましの中で、子どもたちは日々成長しています。ありがとうございます。

最後になりましたが、一日付けの人事異動により、9名の教職員が離任し、新たに9名の教職員が着任いたしました。これまで同様、教職員一丸となって、保護者の皆様、地域の皆様と連携を深めながら、子どもたちを見守り育ててまいりたいと考えております。今年度も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。